

日本微生物資源学会 第11回大会 報告

第11回大会はICCC-10に先立ち10月10日(日)の10:00~17:00に、つくば国際会議場で開催された。総会にて16年度の事業報告と17年度の事業計画が承認された後、奨励賞及び学会賞の受賞者が紹介され、授賞講演は英語でおこなわれた。登録をすませたICCC-10参加者も多く出席し、授賞講演を聴いていた。特に今回の奨励賞では初めて日本以外の国からLisdiyanti博士(インドネシア)が授賞されたことで、アジアからのICCC-10参加者を相当刺激したらしく、JSCCへの入会の仕方を聞いてきた方が数名いた。昼にはJSCCカルチャーコレクション委員会が開催され、機関会員費の徴収、カタログ出版への協力について基本的な合意を得た他、OECDの認定基準にむけての対応についても話し合った。午後からは公開セミナー「伝統ある麹菌の新しい世界」(コンピーナー:奥田徹, ジョーン・ベネット)が開催され、そこでは麹菌の善玉悪玉、伝統と先端技術、工業利用、ゲノム研究、及び米国BTの父—高峯讓吉、生誕150年を祝っての講演がなされた。特に、最後の高峯讓吉博士に関する講演は、初期のバイオテクノロジーに関する彼の偉大な貢献と足跡を我々に十分理解させ、日本人であることを誇りに思うものであった。

(渡邊 信 記)

会 期：平成16年10月10日(日)
場 所：つくば国際会議場
茨城県つくば市竹園2-20-5

【プログラム】

- 10:00-11:00 日本微生物資源学会総会
- 11:00-11:05 日本微生物学会奨励賞・学会賞授賞式
- 11:05-11:20 日本微生物学会奨励賞講演「Taxonomic studies of *Cytophaga*-like bacteria」(Yasuyosi Nakagawa)
- 11:20-11:35 日本微生物学会奨励賞講演「Systematics and diversity of acetic acid bacteria isolated from South East Asia」(Puspita Lisdiyanti)
- 11:35-12:00 日本微生物学会賞講演「The Butterfly Effect」(Hideaki Sugawara)
- 14:00-16:45 オープンセミナー「伝統ある麹菌の新しい世界」
 - ・座長：奥田徹(玉川大学学術研究所), Joan W. Bennett (Tulane Univ., USA)
 - ・善玉悪玉：麹菌とアフラトキシン生成菌 (Maren A. Klich, USDA, USA)
 - ・伝統と先端技術：日本酒醸造 (小泉武夫, 東京農大)
 - ・麹菌の工業利用 (佐々美賀子・高木忍, Novozymes Denmark & Japan)
 - ・麹菌のゲノム研究 (町田雅之, 産業総合研究所)
 - ・米国バイオテクノロジーの父—高峯讓吉, 生誕150年を祝って (Joan W. Bennett, Tulane Univ. USA)